

市議会の動き

平成15年度一般会計 補正予算などを可決

～平成15年第4回定例会

昨年12月9日に閉会した第4回定例会(会期14日間)について、先月号に引き続き12月1日以降の審議内容をお知らせします。また、各委員会の活動状況(12月1日～1月10日)についてもお知らせします。

編集●札幌市議会事務局 ☎211-3162 218-5143

市議会ホームページアドレス●<http://www.city.sapporo.jp/gikai/>

可決された議案

○平成十五年度一般会計補正予算

次の内容で総額十八億六千九百六十万五千円を補正するものです。

①障がいのある方への支援費や児童扶養手当に要する経費の追加

②RDF(ごみ固形燃料)関連施設の防火対策の強化に必要な施設整備費の追加

③市債の発行抑制に伴う公債

費の減額

○児童福祉施設設置条例の一部を改正する条例案

中央区に新たに「しせいいかん保育園」(四月開園予定)を設置することに伴い、その名称と位置を定めるとともに、指定管理者に保育園の管理を行わせる場合の基準などを定めるものです。

○子育て支援総合センター条例案

中央区に新たに「子育て支援総合センター」(四月開館予

定)を設置し、その管理運営について必要な事項を定めるものです。

○夜間急病センター条例案

初期救急体制の一層の充実を図るため、公の施設として新たに「夜間急病センター」(四月開館予定)を設置することに伴い、その名称、位置、使用料および手数料などを定めるとともに、その管理運営などについて、必要な事項を定めるものです。

このほか、札幌市基金条例の一部を改正する条例案など合計十四件が可決または同意されました。

可決された意見書案

○裁判員制度に関する意見書

○DV防止法の改正と社会環境の整備を求める意見書

○居宅生活支援費の国庫補助堅持を求める意見書

○雇用創出及び創業環境の早急な整備を求める意見書

○生活保護に関する意見書

○奨学金制度の拡充を求める意見書

○イラク滞在邦人の安全対策及び自衛隊派遣に関する意見書

※DV=夫・恋人からの暴力のこと

可決された決議案

○出資団体等に関する決議

代表質問から

今回の定例会では、十二月二日、三日の二日間の日程で代表質問を行いました。その中から主なものをお知らせします。

教育問題

小須田悟士(自民党)

別に指導・研修を行うなど、状況に応じた適切な措置を講じてきた。

問 文部科学省は、指導力不足教員を学校現場から外して研修させることや、欠勤や能力に問題がある場合には、分限処分も含む人事管理システムづくりを指示し、各教育委員会が第三者を入れた判定委員会での検討を進めてきた。平成十四年度において、このシステムを実施している全国の都道府県、政令市の指導力不足教員の認定は、二百八十九人で、うち三人が免職処分であるが、本市の現状を伺いたい。また、指導力不足教員について、本市はどのような対応をしているのか伺いたい。

答 指導力不足教員に対する人事管理システムの策定に向け、十四年十二月に教育関係者、学識経験者などからなる「指導力向上制度検討委員会」を設置し、検討を進めているところである。このシステムによる指導力不足教員の認定には至っていないが、これまでも、児童生徒を適切に指導できない教員には、各学校および教育委員会において、個

平和行政

三宅由美(民主党・市民の会)

問 イラク派遣部隊は道内の陸上自衛隊の全師団から編成され、始めの六カ月だけで延べ千数百人が派遣されるとみられる。そのため、道内の隊員や家族の不安は日々高まっている。約七千四百人の自衛隊員が駐屯し、その家族が暮らす札幌の市長として、自衛隊のイラク派遣についてどのように考えているのか、見解を伺いたい。

また、平成十六年七月に札幌市で開催される国連軍縮会議を全国の市長や自治体と平和問題で連携する好機ととらえて、会議や共同声明の発信などを呼び掛けてみてはどうか、併せて伺いたい。

答 最近のイラクの治安情勢